

子育て支援

✿ 子育て支援センター「すくすく」

子どもを自由に遊ばせながら、子ども同士、親同士が友達になったり、育児の不安や悩みを語り合ったり、情報交換する場です。（*毎月のイベント情報は子育て情報誌「ういず」に掲載されています。市のHPからも閲覧可能。）

【開所日】月～土 8時半～17時

【場所・問い合わせ】

伊都文化会館入口西側（前原東2-1-25）092-321-0464

<すくすく広場>

午前：10時～12時 午後：13時～16時

<すくすく子育て教室>

火曜日：2歳児以上 水曜日：1歳児 木曜日：0歳児

いずれも月2回程度 10時～12時



✿ 子どもふれあい教室

加布里小学校の児童を対象に、さまざまな体験学習を通して社会福祉への関心をはぐくむことを目的に開催されています。（要申込）

【日時】年6回程度

【場所・問い合わせ】加布里公民館（神在1112）

092-322-3026



✿ ASK（放課後公民館）

ASKとは、アフター・スクール・公民館の頭文字。毎週火曜日の放課後（年40回程度）に、公民館で国語と算数の学習会を開きます。指導には4人の元教師があたり、児童の学力アップを後押しします。

【場所・問い合わせ】加布里公民館（神在1112）

092-322-3026

【対象】小学4～6年生（各学年8名）

【費用】無料（要申込み）



✿ 長野川で遊ぶ

子どもたちが加布里校区の自然に触れ、楽しむための活動で、加布里校区を流れる長野川で地域の人の指導を受けながらイカダを作ったり、川に浮かべて競争をしたりします。また、川の生き物探しなどを楽しみます。

【日時】毎年9月頃（詳細は「公民館だより」などでお知らせします）

【対象】加布里校区の小中学生

【問い合わせ】加布里公民館 092-322-3026

保育所での一時預かり

急用の時、保育所に入所していない子どもを一時預けることができます。時間・料金などは市のHPを参照して、直接保育所にお問い合わせください。

糸島市ファミリー・サポート・センター（いとしまファミサポ）

子育ての援助をしてほしい人と子育ての援助をしたい人が会員となって、子どもの預かりなど、一時的な子育てを助け合う有償ボランティア事業です。

【問い合わせ】092-332-8717

病児・病後児保育施設「コアラ」

仕事などで保護者が昼間留守にする場合、病気の回復期、または病状の急変が認められない状況にあるお子さん（生後3か月～小学6年生まで）を一時預かりします。

【問い合わせ】092-322-9720



近隣の直売所

JA糸島産直市場 伊都菜彩

【場所】波多江567-1

【営業日時】9時～18時
1月1日～3日定休日

【電話】092-324-3131



JF糸島 志摩の四季

【場所】志摩津和崎33-1

【営業日時】8時半～17時半
盆正月定休

【電話】092-327-4033



福ふくの里

【場所】二丈福井6333

【営業日時】9時～17時
お盆・年始定休

【電話】092-326-6886



加布里校区の市民農園

自分で作る野菜は
世界一！

自然と触れ合いながら、作物を自分の手で育て、収穫する喜びを体験しよう！

糸島東ふれあい農園
（市民農園型）

【区画数】77区画（30㎡/区画）

【利用料】7,000円/年

【場所】東398

【問い合わせ】090-7468-8116



市民農園型...利用者が自ら種苗、肥料、農具などを用意し、栽培計画や耕作をおこなうもの。

糸島市子育て世代応援サイト



いとネット

糸島市が運営する子育て世代の生活を応援する会員制ポータルサイト「いとネット」にぜひご登録ください！

会員は、協賛店からさまざまなサービスが受けられ、市から子育てに関する情報を受け取れます。

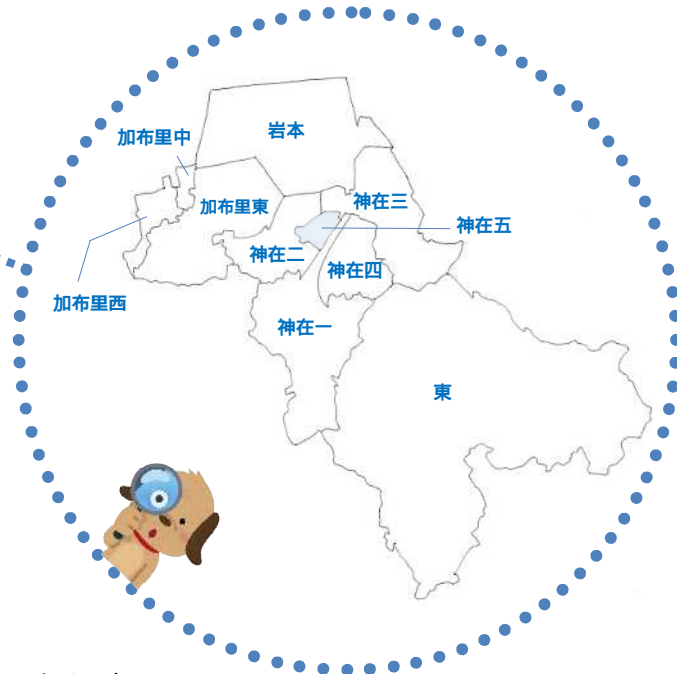
地域のてびき



加布里（かぶり）校区



加布里（かぶり）校区



基本情報

最寄駅：JR加布里駅
人口：7,345人
世帯数：3,094世帯

行政区名：東（ひがし）/ 神在一（かみありいち）
 神在二（かみありに）/ 神在三（かみありさん）/ 神在四（かみありよん）
 神在五（かみありご）/ 岩本（いわもと）/ 加布里東（かぶりひがし）
 加布里中（かぶりなか）/ 加布里西（かぶりにし）

小中学校：加布里小学校 / 児童数341人・学級数15
 前原西中学校 / 生徒数718人・学級数27

人口・世帯数は平成30年3月末、小中学校の情報は平成30年5月末現在

校区・行政区とは？



糸島市には小学校が16校、中学校が7校あり、この小学校の通学範囲を「小学校区（校区）」といいます。また、糸島市からの連絡文書の配布・回覧など市政の円滑な運営を図るため、市域を163の区域に分けており、この区域を「行政区（自治会）」といいます。主に、これらの小学校区・行政区単位でお祭り、伝統文化の継承、清掃活動、安全パトロールなど、安心して住みよいまちづくりのため、様々な地域活動に自主的に取り組んでいます。特に、大規模災害など、いざというときに頼りになる「地域のきずな」づくりに向けて、ふれあいの輪を広げて人々の連帯意識の向上に努めています。

自治組織に加入するには？

新しいまちでのコミュニケーションの第一歩として、住みよい地域づくりのために様々な活動を行っている「自治組織（自治会、町内会）」に加入しましょう！

加入は、お住まいの地域の行政区長に申し出て下さい。お住まいの行政区長がご不明なときは、糸島市地域振興課（092-332-2062）までお問い合わせください。

行政区によって金額は異なりますが、地域交流活動や環境保全活動の費用として、年間一定額の区費を収める必要があります。また、行政区によっては、入区費用を収める必要がある場合もあります。



行政区長さん、地域コーディネーターさんがいます！

各行政区には、その区をとりまとめる区長さんがいます。また、生活に密着した地域の情報提供や、日々の生活に関する不安や疑問の解消を目的に、地域コーディネーターさんも配置しています。区長さんや地域コーディネーターさんに聞いてみたいことや、案内してほしい場所があれば、お気軽に糸島市地域振興課（092-332-2062）までお問い合わせください。

先輩移住者の声

駐車場代が安いので、福岡市内へ行くときはJR筑前前原駅近くに駐車して電車で行きます。普段の買い物はスーパーや生活協同組合がメインで、時々伊都菜彩を利用します。きがメインの湯やまむしの湯など、いい湯どころがあるのでお風呂に入りに行くが増えました。10月に行われる市民祭りは会場が加布里漁港なので歩いて行きます。秋なのに花火が打ち上がるのでびっくりしました。ママ友は志摩中央公園などで開かれるマルシェイベントに参加して仲良くなったり、育児サークルに参加して交流しています。

加布里校区在住・40代女性



上 / 加布里漁港 下 / 神石



ここが加布里校区の特長！



・川・海と恵まれた自然に囲まれている加布里校区。加布里湾に流れ込む泉川には、干拓によってできた「はまぼう夢の里」があり、花が咲く7月には、はまぼうの群生地を見に多くの人たちが訪れます。国道202号線沿いにはスーパー、コンビニ、飲食店が立ち並びます。福岡市の天神・博多へは、JR加布里駅からの鉄道に加え、高速バス（昭和自動車）が利用でき、西九州道のインターチェンジにもアプローチしやすい地域です。



加布里漁港

加布里漁港はカキをはじめ、天然ハマグリ、海苔の養殖、魚介類の干物が有名です。春先にはオキユウト草を求め、海岸を歩く人の姿もあります。毎年秋には「糸島市民祭り」の花火大会会場にもなり、多くの人でにぎわいます。

カキ小屋

冬になると、糸島名物「カキ小屋」が加布里漁港にも店開きします。糸島の豊かな恵みを受けて育ったカキは、芳醇でミルクィな甘さが特長。採れたてのカキを自分で焼いて食べるスタイルで、地元っ子はもちろん、旅行者にも人気のスポットです。地元で採れたハマグリや花えびも食べられます。



加布里公園

海（船越湾）が見える公園として親しまれ、春にはお花見スポットとしてにぎわいます。船越湾に沈む夕陽はすばらしく、その情景は感動を与えてくれます。弁天橋からのサンセットも多くの写真家に人気のスポットです。

伊都国宮地獄神社（いとこくみやじだけじんじゃ）

加布里駅の東側にある鳥居をくぐり、そこから宮地岳へ登っていく道は、地元の人がよく利用する散歩コースです。頂上には伊都国宮地獄神社があり、春には梅や桜を楽しむ人の姿が見られます。

神在神社と神石

神在（かみあり）にある神在神社には、「神石（かみいし）」と呼ばれる、目を見張るほどの巨石があります。境内の裏を立て看板に沿って南に300mほど歩くと竹森の中に現れます。近年は、パワーストーンとして注目されています。

釜塚古墳

釜塚古墳は加布里駅東側にある九州屈指の大型円墳です。築造時期は、石室の形態や出土した埴輪から古墳時代中期と考えられています。出土した木製の埴輪は国内最古で、伊都国歴史博物館に展示されています。

校区一斉パトロール

加布里校区は糸島市内でも最も早く「校区一斉パトロール」の取組を始めた校区です。「地域見守り隊加布里」があり、毎月校区内をパトロールし、地域のみんなで地域を見守る活動を行っています。



濃厚な味わいの 貴重な天然ハマグリ！

現在、日本で流通しているハマグリは9割は中国や韓国から輸入されたシナハマグリですが、糸島市加布里で採れるものは、日本特産の固有種です。一時期は潮干狩りでの乱獲によりほとんどいなくなりましたが、近年の水質改善と地元漁業者の懸命な清掃活動によって再び採れるようになりました。国産ならではの貴重な物のため、市内での販売は加布里漁協のみです。



とっても貴重！
 とっても美味！